

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 はりま姫路総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	35	対象	透I訓ガ	救臨がへ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,393,607	70,008	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
720	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
16	-	736
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
720	-	720

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- 総合的な診療機能を活かした高度専門・急性期医療の提供
- 圏域における最後の砦としての救急医療の充実
- 臨床研修センターを中心とした若手医師等の医療人材育成
- よりよい医療を目指した臨床研究や新しい医療機器開発の推進

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、病床利用率の向上など業務量が増大し、入院単価の維持・外来単価の増加など医療収益の確保を進めるとともに、材料費の節減などにも取り組み、経常収支比率などが向上した。なお、令和3年度以前のデータは、旧姫路循環器病センターのものであり、病院の規模・性格が異なるため、単純な比較はできない。

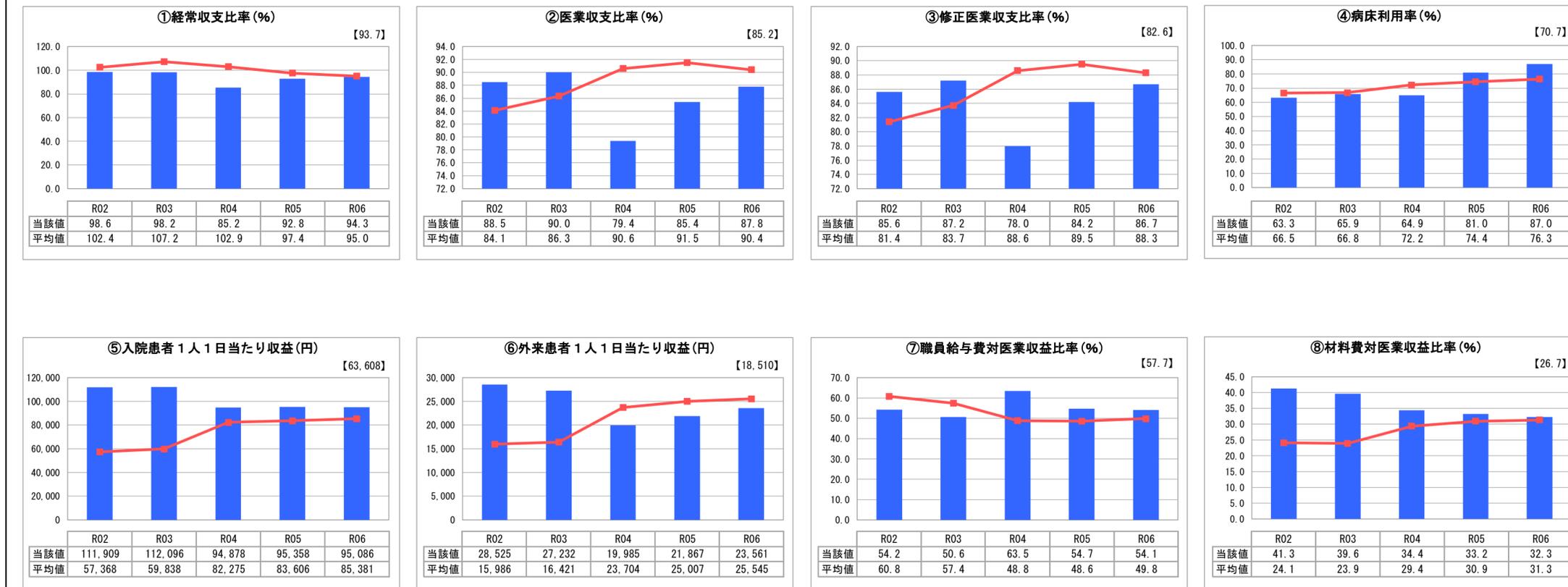
2. 老朽化の状況について

令和4年度の新病院開設に伴う建物新築・機器更新により、減価償却率は低い水準にとどまっている。

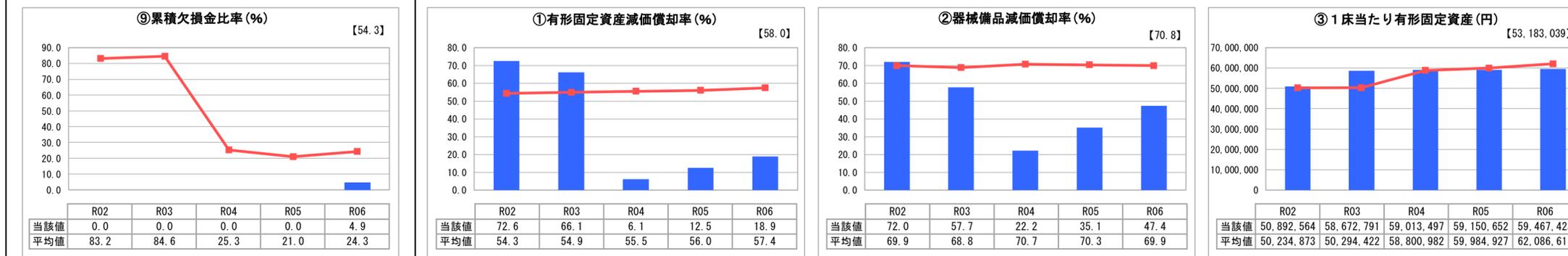
全体総括

地域の医療機関との連携推進や救急患者の積極的な受け入れなどによる増患対策のほか、休日の診療機能充実による病床稼働率の向上、DPC分析等による入院単価の向上など、当院の診療機能をしつかり発揮していくことで収益の確保を図るとともに、ベンチマークを活用した診療材料の価格交渉強化、委託料の見直し、職員の適正配置など費用抑制の取り組みを進め、経営の健全化・効率化に取り組んでいく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。